

2026 年 10 月 6 日

株式会社三菱 UFJ 銀行

関西圏における空飛ぶクルマの社会実装と商用運航実現に向けた共同検討の開始について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 おおさわ まさかず 大澤 正和、以下 三菱 UFJ 銀行）は、関西を代表する複数の企業とともに、関西圏における空飛ぶクルマの社会実装および将来的な商用運航の実現に向けた共同検討を開始しました。

大阪・関西万博を契機に、空飛ぶクルマは実証・技術開発の段階から社会実装に向けた新たなフェーズへ移行しつつあります。こうした環境変化を踏まえ、本検討では関西圏を広域でつなぐ新たな空の交通ネットワークのあり方について、中長期的な視点から検討を進めてまいります。

空飛ぶクルマは、移動時間の短縮や観光地へのアクセス向上に加え、地域交通の維持・補完、災害時の活用など、さまざまな社会課題の解決に資する次世代モビリティとして期待されています。また、運航、整備、インフラ、エネルギー、通信、観光など幅広い産業との連携を通じ、新たな産業や雇用の創出につながる可能性を有しています。

特に関西圏は、国際空港や新幹線主要駅をはじめとする広域交通ネットワークに加え、世界的な観光資源や多様な産業集積を有しており、空飛ぶクルマの社会実装を推進する上で大きなポテンシャルを備えています。さらに、大阪・関西万博を契機として、自治体や民間事業者によるさまざまな取り組みが進められており、全国に先駆けた社会実装の舞台となることが期待されています。

本検討では、空飛ぶクルマを単なる新たな移動サービスとしてではなく、人・地域・産業をつなぐ次世代の交通インフラとして捉え、関西圏における持続可能な事業モデルの構築を目指します。交通、航空、インフラ、エネルギー、観光、金融、保険など、それぞれの分野で知見や事業基盤を有する企業が連携しながら、以下の事項について検討を進めてまいります。

主な検討事項

- ・ 関西圏における中長期的な運航ネットワークおよび運航ルート
- ・ 離着陸場、整備拠点等のインフラ整備
- ・ 運航・整備・安全管理体制
- ・ 地域交通や観光と連携した需要創出・サービス開発
- ・ 事業性および持続可能な事業モデル
- ・ 国・自治体・地域社会との連携および対話

三菱 UFJ 銀行は、空飛ぶクルマの社会実装には、業界や企業の枠を超えた連携が不可欠であると考えています。金融機能の提供に加え、多様な企業・自治体・地域社会をつなぐネットワークを活用し、関西発の新たな産業・交通インフラの形成を後押しすることで、社会課題の解決と地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

なお、現時点において、出資、事業開始時期その他の具体的事項について決定した事実はありません。

以 上